

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電子制御3年	科目コード	37300130
科目名	国語 Japanese				
担当教員	曾田 友紀子				
単位数(時間数)	必修 通年 2単位 (60時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	1・2年で学習した知識を基礎に、現代文、古典両分野における知識を広げ、深めることで、国語力の涵養に努める。				
先修科目	国語				
後修科目	国語 ,文学				
備考	前期は2年次の教科書、テキスト等を使用し、口頭発表を中心に据える。後期は教科書を適宜参照しながら、小論文作成を主軸として展開する。				
	授業項目	時間	内容		
1	ガイダンス 書写の意味	2	1年間の授業予定を理解する。		
2	発表に関する準備	2	過去の資料等を参照し、具体的に何についてどのような発表を行うのか理解する。		
3	あらすじをまとめる	2	日本古代文学史における『竹取物語』の位置を理解し、段ごとにあらすじをまとめることができる。		
4	古代の婚姻形態	2	文章読解や資料を通して貴族の恋愛や結婚の形態を理解する。		
5	説話の種類	2	竹取物語にみられるいくつかの説話の種類を理解する。		
6	演習発表 準備	2	所定の方法に倣い、各自の演習発表資料を図書館、情報教育センターを利用しながらまとめる。		
7	演習発表	12	各自テーマを決め、5分で演習発表を行う。資料の調べ方や文学作品における問題設定の建て方を学び、実践できるようになる。		
8	演習発表 振り返り	2	各自の演習発表の成果と課題等に、確認する。		
9	小論文 執筆準備	2	小論文を書くときの姿勢や要点について、理解する。		
10	評論を読む	4	執筆準備の一環として、論理的な文章の構成、表現、展開を理解する。		
11	後期の授業内容と留意点の確認	2	後期の現代文の授業内容と目的を理解する。		
12	評論を読む	4	論理的な文章の構成、表現、内容を理解し、各自の意見をもつことができる。		
13	文章構成を学ぶ	2	論理的な文章を各の価値観に基づき、活かすことができる。		
14	情報収集	6	各自の興味、関心に合致、意見を述べる題材を探す。報告ではなく、各自のテーマに基づく小論文を書くための準備をする。		
15	執筆	8	計画用紙に記入しながら、小論文の構想を練り、執筆に取り組む。段落ごとに項目をたて、キーワードや主題文を割り振ることができる。		
16	推敲	2	小論文を推敲する。		
17	相互評価 相対化	4	各自の小論文を読み合い、意見や感想を書く。友人の文章を読むことで、意見や表現、考え方の多様性を認める。		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	自分の興味・関心に基づく主題を選び、読む人にわかりやすく平易な文章や口頭発表で自分の考えや意見を伝えることができる。 以上を達成することで、学習・教育目標(A-1)に至る一つの段階の達成とする。				
成績評価	定期試験、小テスト、授業準備、課題提出、自由課題等で評価し、前後期の平均点で学年総合成績をつける。				
教材	教科書 『精選 古典 改訂版』大修館 『現代文2 改訂版』大修館 参考書 『カラー版新国語便覧』第一学習社 『書いて覚える高校生の漢字学習』とうほう 現代文の問題集 古語辞典 国語辞典				

オフィスアワー

毎週月曜日午後 4 時から 5 時まで．会議等で不在の場合もあるが，適宜，質問・相談に応じる．教員室：一般科棟 1 階 112 112